

## 実績評価シート

担当課長：地球環境局総務課長

施策名	酸性雨等に係る対策	
1 施策の概要	<p>今後深刻化することが懸念される東アジア地域の酸性雨問題を防止するため、同地域における酸性雨の状況を適切に評価するための東アジア酸性雨モニタリングネットワーク（EANET）の推進を図るとともに、国際協調による東アジア地域全体の酸性雨対策の枠組みづくりを目指す。</p> <p>また、我が国における酸性雨の状況を的確に把握するための長期モニタリング体制の整備を行う。</p>	
2 (1) 施策の目的、目標・達成時期	2 (2) 達成状況	
<p>酸性雨による環境影響の防止 東アジア地域を中心に国際的な連携の下でのモニタリング、調査研究等の国際協力を進める。</p>	<p>これまでのところ、東アジアの一部地域を除き、明確な酸性雨被害が報告されたことはない。</p> <p>2001年1月からEANETの本格稼働を開始。本格稼働に際しては、排出源目録づくり、モデリング等、国際的に協調した対策に向けた科学的基盤づくりをEANET活動のスコープに取り込んだ。</p> <p>第1～4次酸性雨対策調査により大気汚染と酸性雨の関係、酸性雨発生メカニズム、酸性雨の影響等の解明が進み、我が国の酸性雨の実態が把握された。</p>	
3 課題の体系	<p>ア 東アジア酸性雨モニタリングネットワーク(EANET)の構築、拡充・強化</p> <p>イ 国内における酸性雨モニタリングの適切な実施</p> <p>ウ 酸性雨問題の防止に向けた国際協力の推進</p>	
4 評価	<p>EANET は本格稼働を開始したところではあるが、参加国には途上国が多いため、東アジア地域の酸性雨の状況を適切に評価するためには、モニタリングサイトの充実、設備機器の整備、モニタリング技術の向上が必要。そのための支援の継続強化が必須。</p> <p>国内モニタリングに関しては、長期モニタリングに向けて、EANET との整合性に留意しつつ、より効率的、効果的なモニタリングが行えるよう、モニタリングサイトの見直しを行う必要がある。</p> <p>また、東アジア地域に適したモニタリング手法の開発、向上を図るとともに、次のステップとしての国際的に協調した対策の枠組みづくりに向けた調査研究の推進が重要。</p>	